

文化庁2023（令和5）年度 現職日本語教師研修プログラム普及事業

難民等に対する日本語教師【初任】研修

アフガニスタン、ウクライナ、ミャンマー等から日本に逃れ、地域への定住をスタートさせている難民的背景をもつ方々が急増しています。この状況下、「日本語教育」の専門性をもって何かしらお役に立てないかとお考えの方も大勢いらっしゃると思います。さぽうと21は、難民の自立支援団体の知見を活かして、「難民的背景をもつ日本語学習者を多視点から理解し、対人援助としての日本語教育の姿勢をもち、有用な日本語教育を行うことのできる日本語教師人材を育成する」ことを目的として、本研修の実施を決めました。ご関心のある方は、ぜひお申し込みください。

■対象 難民等への日本語教育を学びたい日本語教師、全講座参加可能な方優先

■日時 日曜日 9:30 から12:40 ※詳しくは、裏面をご覧ください。

■実施期間 7月-10月期 2023年7月2日（日）から10月1日（日）

全60単位相当（45分×60コマ）の講座です。

研修は原則、日曜日に行われますが、内容等により他の曜日に実施の場合もあります。

※本事業では、同様の研修を年2回実施する予定であります。次回は10月開始の予定です。

■実施方法 オンライン（「演習特2 難民当事者との対話」のみ原則対面）

■申込方法 以下のURLまたはQRコードよりお申込み下さい。先着順にて受付を終了します。（定員 35名 ※年度内2回の研修で70名の方にご受講いただければと思っています。）

<https://forms.gle/52V2SSxAGNdF4d9R7>

■受講料 15,000円

お支払方法はお申込みいただいた方にお知らせいたします。

■申込〆切 2023年6月30日（金）

※10月からの研修をご希望の方もいままらお申し込みいただけます。

ご興味のある方は申し込みフォームにて受講のご希望をお知らせください。



社会福祉法人さぽうと21は、1979年に「インドシナ難民を助ける会」として事業を開始して以来、一貫して、難民等、何かしらの特別な事情により日本に留まることとなった方々への日本語教育に携わってきました。彼らの日本での暮らしは「就労先」「学校」「自治体等の地域コミュニティ」などにより支えられますが、そうした日々の暮らしを支えるため、また、彼らがより自分らしく生きていくため、日本語の習得は欠かすことのできないとても大切な要素です。長年、現場で難民等の日本定住の支援に関わってきた者たちが集まり、「難民等への日本語教育の力とはなんぞや？」を考え、議論を重ねながら、日本語教師（初任）対象の研修をデザインしました。

主催 社会福祉法人 さぽうと21

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-12-2 ミズホビル 6階

TEL: 03-5449-1331 FAX: 03-5449-1332 E-mail: kensyu@support21.or.jp

[社会福祉法人さぽうと21 \(support21.or.jp\)](https://support21.or.jp)

講義内容と日程

日程	回数	午前① 9:30-11:00 (2コマ)	午後② 11:10-12:40 (2コマ)
7/2 (日)	1	【講義Aゼロ】「難民等」概論 武蔵大学社会学部 准教授 人見泰弘	【講義Cゼロ】「難民等に対する日本語教育」概論 ※研修についての説明 (社福) さぼうと2 1 矢崎理恵
7/9 (日)	2	【講義A2】日本の難民等受入れの経緯と基本的な受入れ方針・体制等 (公財) アジア福祉教育財団 難民事業本部 鈴木功	【講義C3】中国帰国者に対する日本語教育 首都圏中国帰国者支援・交流センター 小川珠子
7/16 (日)	3	【講義A1】世界における難民等の現状 国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) 駐日事務所 葛西伶	【講義C1】難民等に対する日本語教育 (公的な支援を中心に) (公社)国際日本語普及協会 (AJALT) 小瀧雅子
7/23 (日)	4	【講義A3】日本における難民等の現状 FRJ なんみんフォーラム 檜山怜美	【講義C2】難民等に対する日本語教育 (公的な支援以外を中心に) (社福) さぼうと2 1 矢崎理恵
7/30 (日)	5	【演習ゼロ】難民等に対する日本語教育に必要な知識・技能・態度を身に着けていくには 社会構想大学院大学実務教育研究科 准教授 伴野崇生	【演習1】積極的傾聴 社会構想大学院大学実務教育研究科 准教授 伴野崇生
8/6 (日)	6	【講義B1】日本における難民等の多様性① 認定NPO法人 難民支援協会 (JAR) 鶴木由美子	【講義B5】難民への理解を深める 一臨床心理学の視点からの理解ー 大正大学社会共生学部公共政策学科 教授 鶴川晃
8/13 (日)	7	【講義B2】日本における難民等の多様性② (社福) さぼうと2 1 研修コーディネーター 田中美穂子	【演習2】異文化調整能力・課題の共有・評価とフィードバック 社会構想大学院大学実務教育研究科 准教授 伴野崇生
8/20 (日)	8	【講義D1】難民等の社会参加 (社福) 日本国際社会事業団 常務理事 石川美絵子	
8/27 (日)	9	【講義B3】難民等の異文化受容・適応(ケースメソッド) 社会構想大学院大学実務教育研究科 准教授 伴野崇生	【講義B4】難民への理解を深める 一言語学習者としての側面からー 国立国語研究所 日本語教育研究領域 野山広
9/3 (日)	10	【演習特2】難民当事者との対話<本番> ※対面 (社福) さぼうと2 1 研修コーディネーター 田中美穂子	できる限り、対面での参加をお願いいたく存じますが、ご事情によりどうしても対面参加が難しい方のために、別日程でオンラインでの実施を予定しております。
9/10 (日)	11	【演習特1】日本語教育の実践の現場を見学 (振り返り) (社福) さぼうと2 1 研修コーディネーター 田中 美穂子	【演習3】難民等に対する日本語教育や難民支援実践者の「わざ」を記述する 社会構想大学院大学実務教育研究科 准教授 伴野崇生
9/17 (日)	12	【講義D2】難民等のライフステージに合わせたキャリアプランと日本語教育 社会構想大学院大学実務教育研究科 准教授 伴野崇生	
9/24 (日)	13	【演習特2】難民当事者との対話<振り返り> (社福) さぼうと2 1 研修コーディネーター 田中美穂子	
10/1 (日)	14	【演習4】私にとって「難民等に対する日本語教育とは」／教師として学び、成長し続けるために 社会構想大学院大学実務教育研究科 准教授 伴野崇生	
7月～8月		【見学】難民等への日本語教育を行う機関を訪問、見学	実習は期間内に、全450分(10単位相当)のオンラインでの個別指導となります。日程は個別に調整させていただきます。実習アドバイザーが伴走します。
8月～1月		【実習】田中美穂子 他	